

4 22 おもしろ、楽しく野菜で演奏

はたのぼるさんが園児に披露

本市出身で笛吹き漫談家のはたのぼるさんが、この日ゆたかこども園と市内の介護施設を訪れ、野菜やほうきなどを笛にした演奏を披露しました。はたさんは旧神明村新道（現幸町2丁目）出身で、1949年に上京し音楽学校に入学。68年からは漫談師となり尺八漫談や野菜などに穴を開け笛を吹くパフォーマンスを披露するなど「野菜演奏家」としても活躍しています。訪問した同園では、はたさんがニンジンや竹ほうきなどで音色を奏でたりおどけたふりを見せると、園児たちは「すごーい」「おもしろい」と歓声を上げていました。



園児たちに竹ほうきで演奏を披露するはたさん（写真右）



タペストリーにして館内に掲げた旧公民館の壁画

4 24 新鯖江公民館が完成

落成を前に地域住民に先行お披露目

建て替えが進められていた鯖江公民館の建物が完成し、住民や利用団体を対象とした内覧会が開かれました。鯖江公民館と言えば、約半世紀に渡って旧建物の東側壁面を彩ったタイル貼りの壁画。市民からは保存を求める声があったため、写真で制作した大型のタペストリーを階段の壁に飾り、壁画現物の一部もオブジェとして2階トイレ前に飾りました。鉄骨3階建ての建物は、明るく開放的で外観は和の雰囲気を取り入れ、調理実習室や多目的ルーム、大ホールには移動観覧席が備えられました。参加者は早く利用したいと開館が待ちきれない様子で見学していました。

4 25 色鮮やかな衣装で観客を魅了

虹のはし合唱団が東京公演を報告

東京都調布市の市文化会館たづくりくすのきホールで、初の東京公演を行い、都内の子どもたち52人と団員80人で躍動感あるステージを繰り広げた、市民合唱団「虹のはし合唱団」。この日、団員30人が牧野市長を表敬し、笑顔で東京公演の成功を報告しました。団員たちは色鮮やかなステージ衣装を身にまとい、東京公演の思い出を語りました。また、団員の中には、小学生のころから合唱団に所属しており、今回は生まれた娘を連れての親子共演を果たした団員もいました。これからの活躍にも期待したいですね。



衣装が映える虹のはし合唱団と笑顔の牧野市長



表彰を受けた（写真右から）立壁さん、杉本さん、井上さん、塚田さん

4 28 火災発生、迅速な連携で初期消火

鯖江・丹生消防組合が河和田町の4人に感謝状贈呈

表彰されたのは、立壁肇さん、杉本栄次さん、井上忠弘さん、塚田孝一郎さん。3月26日午後3時頃、立壁さん宅近くの物置小屋で発生した火災を、外出しようとした立壁さんが気づき119番通報。さらに、近隣住民が立壁さんの妻に鐘を鳴らして近隣に知らせしてほしいと依頼し、鐘の音を聞きつけた杉本さんらが連携して消火栓からホースを伸ばし消火活動を行いました。贈呈式で竹内消防長は「住宅密集地域だが大きな火災にならなかった」と謝辞を述べ、感謝状を手渡しました。4人は、「私たち以外の住民の協力もあって大事に至らなかった」「日頃の訓練の大事さを再認識した」などと話していました。

ゴールデンウィークは

おまつりWEEK

毎年恒例「田んぼリンピック」が行われ、泥んこバレー、魚のつかみ取り、そり引きなど、参加者は泥んこになって楽しんでいました。また、片上公民館前広場であった「よいとこせ餅つき」では、長さ約1.5メートル、重さ約30キロのきねにロープを結び、100人以上が餅つきをしました。

4
29

泥んこで笑顔あふれる

鯖江かたかみ春田んぼ



(写真)
①熱戦！泥んこバレー
②よいとこせ餅つき



5
3

継体大王 優雅に巡行

河和田塗越前漆器まつり



今年の目玉は継体大王。河和田地区と継体大王のゆかりを広くアピールしようと、地元住民らが制作した継体大王と茨田姫の衣装を着た男女が越前塗の山車に乗り、街中や会場を優雅に巡行し、多くのカメラマンが写真に収めていました。また会場では、漆器が市価より安く買える即売会や、地元の伝統薬味「山うに」が入ったたこ焼き、河和田アートキャンプに参加する大学生と地元住民らで造った地酒「鶯鷲」も販売され、人気を集めていました。

(写真左) 継体天皇と茨田姫役の2人を乗せた越前塗山車

5
3 ~ 5
5

満開のツツジ、西山公園を彩る

第57回さばえつつじまつり

約5万株のツツジが、まつりに合わせるかのように満開を迎え、赤や白、ピンクの花が会場を包みました。同公園ではお弁当を食べたり、散歩したりと思いにまつりを楽しむ人たちににぎわいました。今回は、街なかでスタンプラリーやストラップづくりなども開かれ、街歩きを楽しむ来場者の姿も見られました。今年も、強風に見舞われた日があったものの、ゴールデンウィーク中には満開のツツジを一目見ようと、約34万人が訪れました。



色とりどりのツツジが咲き誇る西山公園

市民が主役のまちづくりを評価！

鯖江市と鯖江市民主役条例推進委員会「協働まちづくり優秀賞」受賞



市と同委員会が、日本経営者協会による「第8回協働まちづくり表彰」の優秀賞に選ばれ、5月19日に都内で開かれた「自治体総合フェア2016」の会場で表彰されました。同表彰は、公と民が共同・連携して魅力ある地域社会の実現に貢献しようと同協会が行っているもので、受賞は県内初で行政と市民の一体感や活動の斬新さが評価されました。市では、平成22年に「鯖江市民主役条例」が施行され、条例策定に携わった市民が中心となって同委員会を発足。市民主役のまちづくりに取り組み、市の事業を民間委託する「提案型市民主役事業化制度」や「市民まちづくり応援団養成講座」などを市に提案しました。また、全国的に知られた「鯖江市役所JK課」など、市民協働の広がりが契機となっている点などが評価されました。

鯖江ならではのおもてなしでファンづくり！

「若者部会SANの“嵐ファンおもてなしプロジェクト”」

4/23.24の両日、サンドーム福井で行われたアイドルグループ「嵐」のコンサートのため鯖江を訪れた人たちに、今までにない形でのおもてなしをして、市のイメージアップと鯖江のファンになってもらおうと、鯖江市民主役条例推進委員会「若者部会SAN」が地元商店街の皆さんと企画。会場となったJR鯖江駅前駐車場に立ち寄った多くの「嵐ファン」は、鯖江産眼鏡をかけパネルを使い写真を撮って鯖江をPRしたり、手づくりのおにぎりや眼鏡をかたどった特産品などを買い求めるなど、鯖江ならではのおもてなしを楽しんでいました。



「鯖江なう」嵐ファンもSNSで鯖江をPR